

市の施設・職員について

市役所の耐震対策

問 本庁舎の耐震改修や新庁舎建設は実施しないのか。今の庁舎では危険ではないか。

答 早期の新庁舎建設が可能となるよう努力したい。

わが国は、いつ、どこで大きな地震があるとも限らない。本庁舎と西3号庁舎(旧市民会館)は、耐震予備調査の結果、耐震化を図らなければならない建物との判定であった。

業務を行いつつながらの耐震改修は仮設建物も必要となり、多額の経費となるため、新庁舎の建設が可能となるよう努力したい。

退職した職員の再任用

問 正規職員の定員削減を行うなか、再任用職員の勤務形態の見直しや配置などの考え方は。

答 適材適所に配置。

現在、職員の定員の適正化に努めているが、今後、増える再任用職員についても、その位置付けや役割を明確にし、常勤職員と再任用職員がそれぞれ相互に補完しあい、行政サービスの向上に確実につながる体制

づくりが必要である。そのためには、意欲と能力のある再任用職員を採用し、その経験や知識、能力を十分に発揮できるように、適材適所に配置する。また、現在の週4日、32時間勤務としている勤務形態についても時差出勤などが可能となるよう、見直していきたい。

職員駐車場

問 公共交通機関を利用した安全な市職員の通勤を推進すべきではないか。また年間1,870万円で民間から借りている職員駐車場について今後の方針は。

答 混雑緩和や緊急時の対策に効果的。

自動車通勤者は職員全体の75%を占める。しかし、公共交通機関での通勤は、安全性の確保と環境問題への積極的な取り組みであるので、職員に協力を呼びかけていく。

職員駐車場については、駐車場としての用途だけでなく、職員駐車場側とあわせ、市役所に2箇所の出入口を確保することで、混雑緩和や災害時など緊急時の対策に効果的である。新庁舎を建設し、庁舎敷地が適正に利用できるまで、地権者の方々の協力を得ながら、職員駐車場を確保していきたい。

産業廃棄物処理施設の跡地

問 産業廃棄物処理施設三田プラント跡地に未買収地がある理由は。また買い取り価格が高すぎるのではないか。

答 価格は鑑定評価に基づいたもの。

この用地は、産業廃棄物処理施設を移転させた跡地である。

全36筆中、34筆は、当時県により移転補償として買収され、現在は、市土地開発公社が所有。残り2筆については土地の境界の確定ができないため未買収で、平成11年度に県・市・三田プラント清算人の間で、条件整理ができ次第、市が買収する確認書を締結した。

現在、うち一筆については、土地の確定ができたので取得方法について協議を進めている。残り一筆は、土地の境界確認ができていない。買収金額については、当時の鑑定評価に基づき、合意を得たものであり、平成11年度の確定書にしたがって土地を取得していきたい。

まぢづくり

協働センター

問 三田駅前キッピモール5階のまぢづくり協働センターを6階に統合することに伴い、会議室貸し出しなどの業務をキッピモールの管理会社に委託することをやめてはどうか。

答 今年度中にスタッフルームの見直しを図っていく。

会議室の貸し出しなどの業務は、現在、キッピモール全体の管理運営者である三田地域振興株式会社業務委託し、危機管理できる体制を整えてきた。今

回、まぢづくり協働センターを6階に統合することから、費用対効果を踏まえ、サービスの充実という観点から、スタッフルームの見直しを図っていきたい。

人工芝グラウンド

問 サッカー協会から要望があるナイター付人工芝グラウンドが建設困難ならば、城山野球場の外野をサッカーに使用できないか。

答 外野利用に関して、前向きに検討。

ナイター付人工芝グラウンドの設置については、現在の財政状況では実現困難である。

しかし、現在ある施設の有効利用の観点から考えると、夜間照明及び人工芝が整備されている城山野球場の外野利用は、検討できる。

城山野球場が野球専用であることから、その本来の利用目的を外れない範囲内で、サッカーなどの利用ができるよう検討していきたい。



▲人工芝整備がされている城山野球場

第295回(6月)定例会議案審議結果一覧

議員数は24名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は23名です。

Table with columns for category (市長提出議案, 議員提出議案, 請願, 陳情), item name, number of items, and results (賛成, 反対, 結果). Includes sub-columns for '採択' and '不採択'.

※ ( )は審査した委員会。陳情は委員会審査のみ行っており、採択・不採択などの結果は出していません。